



ケンブンスイッチ

7月号

もはや一時的な流行じゃない？ 明るくポジティブな「推し活」の世界

「推し」「推し活」という言葉を、最近よく耳にするようになったと思いませんか？「推し」とは、自分が積極的に応援している好きなモノや人のことを指す言葉です。また、「推し活」とは、自分の推しを応援したり、推しのために自分磨きをしたり、さまざまな活動することです。たとえば、部屋に「推しコーナー」を作ってグッズを飾る、イベントに推し仲間とお揃いの格好で出かける、毎日の通勤通学に推しのバッジやぬいぐるみを同伴させるなど、その活動の形はさまざまです。

ひと昔前までは、アイドルやアニメキャラに熱中する人を「オタク」と呼び、そこには自虐や揶揄のニュアンスが含まれてもいました。しかし「推し活」ではそうしたネガティブさは薄れ、“自分の好きを表現する”“推し同志でつながって好きを広げる”という、明るくポジティブなイメージがあります。また、推しの写真やイラストをカード、バッジ、アクリルスタンドなどのグッズにして愛でることで、「形として手元に残るリアルなモノ」の価値が再評価されるきっかけにもなっています。もし身近に「推し活」を楽しんでいる人がいたら、ぜひ「どんなところが魅力なの？」と尋ねてください。きっと、驚くほど熱く深い世界を語ってくれるはずですよ。



▼推し活グッズ例：インスタントフォト風カード

